

役員所感

副理事長 飛田 剛一

【基本方針】

昨今の経済状況は未だに苦しみ低迷し続けており、世論調査でも未来に明るさを感じられないという意見が年々多くなっている様に、私達を取り巻く環境も悪化の一途をたどっております。その様な状況下この逆境の時代だからこそ、明るい豊かな社会の実現のため、同じ志を持つ仲間が存在が今以上に多く必要ではないでしょうか。また地域社会や企業の指導者としても先頭に立ち、地域の方々と共に語り合い考え行動し、立ちほだかる壁に真正面から挑み道を切り開いて行く事が、我々に与えられた使命であると考えます。

新しい仲間となる人材の発掘にはJ Cの組織力が必要であり、J Cメンバー一人ひとりがJ C運動・活動に対し積極的に参加し、J Cの魅力自ら認識する事で初めて多くの人へ伝える事が出来ます。また力強い組織を継続して行くためにも入会まもない時期にJ Cとは何たるかを学ぶとともに、事業開催の意義や目的をしっかりと把握し取組む事が重要であり、事業への参画・理解なしに上越J Cを語る事があってはならないと考えます。組織を発展させるのも衰退させるのも、メンバー全員の責任です。物事を批判するのではなく、どうすれば良くなるのかを議論し、その積み重ねが継続性を持った未来を見据える事の出来る力強い組織へ変わると考えます。同時に我々は地域社会や企業の指導者としての役割も担っており、共通の目的を達成するために決断し道を切り開かなければなりません。理路整然と語るだけでなく自らが率先して行動し、己を律する事により進むべき道が明確になり仲間を導いて行けると考えます。時には悩み、苦しみ、もがき、目的を達成しようと前へ進もうとしますが、その時自分のためだけに前へ進もうと頑張っているのではなく、頑張っている仲間がいるからこそ前へ進もうとするのではないのでしょうか。

目的を達成する事は大切だが、それよりもそこに至るまでのプロセスが重要であり、指導者としても成長し磨かれて行きます。副理事長として、また一人の経済人としても、自らが信念に基づき能動的に行動し、その背中で語り示し人心を動かして行く事で、この地域が真の豊かなまち上越となる事を確信し、邁進してまいります。